

令和6年度第1回大和町総合教育会議 議事録

1 開催日時 令和7年2月26日（水） 午前11時20分から午後0時10分

2 開催場所 役場庁舎201会議室

3 議 題

（1） 令和7年度の教育分野における主な事業について

（2） その他

4 出席者

浅野町長、八巻教育長、鎌田教育長職務代理者、木皿委員、大内委員

5 欠席者

若生委員

6 会議に出席した事務局職員

千葉総務課長、青木教育総務課長、浪岡生涯学習課長、村田公民館長、
藤原教育総務課長補佐、澤田総務課総務法令係長

7 傍聴者 なし

8 会議の概要 以下のとおり

開 会

総務課長：それでは定刻となりましたので、令和6年度第1回大和町総合教育会議を開会させていただきます。はじめに、本日の会議は、大和町総合教育会議運営要綱第4条により、原則公開することとなっておりますのでご了承願います。それでは、開会にあたりまして、浅野町長から挨拶を申し上げます。

開会挨拶

町長：本日は大変お忙しい中、大和町総合教育会議にお集まりいただき御礼を申し上げます。日頃より当町の教育行政の推進に対し格別のご尽力をいただいておりますことに、心から感謝申し上げます。

さて、総合教育会議は、町長である私と教育委員の皆様とが十分な意思疎通を図り、地域の教育課題などを共有するため実施するものであり、こうして直接委員の皆様と意見交換のできる貴重な機会と捉えております。

この総合教育会議につきましては、会議運営要綱により進めさせていただきますが、本日の議題は「令和7年度の教育分野における主な事業について」ということです。要綱では町長が議長となって進めることとなっておりますが、意見交換ということから総務課長が進行して進めさせていただきますので、よろしくお願いします。

総務課長：それでは、先ほど町長からもありましたが、意見交換ということで私の方で進行役を務めさせていただきます。

次第3の議題、令和7年度の教育分野における主な事業について、資料に基づきまして1ページから、それぞれの担当事業につきまして、教育総務課長、生涯学習課長、公民館長から説明をさせていただきます。

議 題

(1) 令和7年度の教育分野における主な事業について

教育総務課長（資料に基づき説明）

生涯学習課長（資料に基づき説明）

公民館長（資料に基づき説明）

総務課長：以上が、令和7年度の教育分野における主な事業となります。引き続き意見交換に移らせていただきます。この総合教育会議は、町長と教育委員会という執行機関同士の幅広く自由な意見交換を行う協議調整の場と位置付けられております。皆様からの自由なご意見、ご質問等をお願いします。

鎌田教育長職務代理者：確かな学びプロジェクトにおける土曜まほろば塾の対象を1・2年生にも拡充したことは非常に良かった。学力調査においても2年生の成績が落ちてしまう状況であったが、今後の学力調査の結果に応じて、2年生の枠をさらに拡充するなど検討いただければと思う。

大内委員：まほろば塾の対象拡充は良い取り組みだと思う。ただ、学校の負担が大きい中で学力向上に向けた学校での取り組みには限界があると感じている。学校以外での教育体制の拡充や人材の確保や配置などが重要だと思う。

木皿委員：学校や教育委員会などが様々検討して、学ぶことへの意識付けをしているが、家庭での環境や意識付けも非常に重要だと思う。将来自分がどのようになりたいかなど考えることができる環境も大切だと思う。

浅野町長：通常の授業と違い、まほろば塾等は理解の習熟度に応じて実施していることも効果があるだろうと思っている。人材確保などの面で、先生方の負担を軽減することも考えると教職員のOBに加え、大和町には宮城大学もあることから、大学生の力を借りることも考える必要あるかと思う。また、廃校にした施設の利活用について、サウンディング型調査をして民間業者などから利活用についての提案をいただいているところだが、何も応募がなかった施設もある。施設の解体の検討も一部進める必要もあるかと考えている。ただ、解体すべきでない等の意見あれば伺いたい。

大内委員：教育委員会でも報告受けていたが、施設の活用方法も様々あるかと思うが、解体も必要だとは思う。廃校ではないが、小規模校もいずれ利活用についての検討も必要になるであろうと思う。地域活性化なども踏まえてそのような施設を利活用するには、教育委員会だけではなく、地域住民も巻き込みながらより横断的な組織の中で検討していく必要がある。廃校になってから考えるのではなく、その前から先を見据えて様々検討することが大切ではないかと考える。地域住民もそういった施設をどうするかなどの意識はあると思うため、行政だけで取り組むような姿勢ではなく、今後も見据えて地域と一体になって検討をしていけるような組織などが必要だと思う。

浅野町長：前向きな意見ありがたく思う。地域の特色などのことで言うと、小学校単位での特色を出す上で、大和町は居住地域で小学校区を定めているが居住地に関わらず学ぶ環境を選択できる方がよいかなど検討いただきたいと思っている。また、不登校対応は、吉岡のコミセンで心の支援事業を実施しているが、学校だけが学ぶ

場ではないというのものもある中、学校の近くで実施しているのも良いのかと思うところもあり、委員の方々の意見も聞かせていただきたい。

鎌田教育長職務代理者：不登校が増えている中なので、学校だけではなくその子どもにあった教育を選択できる環境を提供することが重要だと考える。

大内委員：学校現場の感覚がある教育長中心に様々な取り組みに関する意見を出していただくといいのかなと思うし、一筋縄ではいかない部分もあるが教育に携わる人や地域の人などの関わりが重要かと考える。

浅野町長：今後、さらに議論を深めていただけるといいと思っている。また、外国人も増えている中で、今後は国際化なども意識していけるような教育環境も重要になってくるかと思う。教育委員の方々には今後もさらに大和町の教育について議論いただければと思う。

総務課長：それでは議題（１）については以上としまして、（２）のその他でございます。お手元に、教育等の振興に関する施策の大綱の期間延長について教育総務課長から説明いたします。

教育総務課長（大和町教育振興基本計画と同様に、教育等の振興に関する施策の大綱も１年間延長すること資料に基づき説明）

総務課長：ただいまの説明について、ご意見ありましたらお願いいたします。

各 委 員：（特になし）

総務課長：それでは議題の部分につきましては以上とさせていただきます。皆様、ご意見大変ありがとうございました。それではこれで会議を閉じさせていただきます。閉会の挨拶を八巻教育長から申し上げます。

教育長：本日の総合教育会議の開催、大変ありがとうございました。年度末ということもあり、令和７年度の事業説明ということではあったが、教育委員会としてもさらに先を見据えてこれからも議論をしていければと思います。町長とも貴重な意見交換ができ大変いい機会であったかと思っておりますので、今後ともご支援をよろしくお願い申し上げます。本日は、大変ありがとうございました。

総務課長：以上をもちまして、令和６年度第１回大和町総合教育会議を終了させていただきます。大変ありがとうございました。